

日本分析化学会九州支部 2023 年度 第 2 回常任幹事会 議事内容

日時: 2024 年 2 月 28 日 (水) 15:00 – 17:00 (予定)

開催形式: Zoom によるオンライン開催

出席予定者: 支部執行部, 常任幹事, 各誌編集委員等

報告事項 (担当者: 略敬称)

1. 2023 年度支部事業経過報告

・若手の会事業完了報告 (世話人 佐藤)

・第 72 年会 (実行委員長 戸田)

2. 2023 年度支部会計報告 (会計幹事 鈴木)

3. 本部理事会報告 (理事 井原(代理: 江藤))

4. 各誌編集委員会 (各誌編集委員)

5. その他

議題 (担当者: 略敬称)

1. 2024 年度支部事業計画案

・ 第 61 回化学関連支部合同大会 (世話人 財津)

・ 第 42 回九州分析化学夏季セミナー (世話人 児玉谷(代理: 満塩))..

・ 第 62 回分析化学講習会 (実行委員長)

2. 2024 年度支部予算案 (会計幹事 鈴木)

3. 2024 年度支部・本部関係役員 (庶務幹事 江藤)

4. 支部役員の変更及び役員名簿 (庶務幹事 江藤)

日本分析化学会九州支部 2023 年度 第 2 回常任幹事会 議事録(案)

日時: 2024 年 2 月 28 日 (水) 15:00 – 16:30

開催形式: Zoom によるオンライン開催

出席者(略敬称, 順不同):

((現 or 次期) 執行部): 井上, 浅田, 加地, 宮崎, 財津, 江藤(文責), (参与): 山田, (常任幹事(2023 年度 or 次期)): 高松, 戸田, 岸川, 井倉, 栗崎, 高橋, 藤ヶ谷, 佐藤(博) (各誌編集委員及び報告担当者): 野間, 末田, 梅木, 佐藤しのぶ, 満塩

報告事項

1. 2023 年度支部事業経過報告

1.1 若手の会事業完了報告

2023 年度若手の会の世話人の佐藤先生より, 若手の会の事業完了報告が資料 1 と共に説明された。

(以下常任幹事会内での発言次項)

- ・ 宿泊費の本部への報告はない。収入の項目の開催助成に関して, 2023 年度は活動補助 30 万と補助繰り越しの 23 万で, 単年としては計 53 万の補助。
- ・ 今回は参加費と宿泊費を分けている。インボイス対応も考慮し, 今後はこの形で。
- ・ 参加費 5000 円には消費税がかかっているが, この分の消費税は本部もち。

1.2 第 72 年会

実行委員長の戸田先生より, 第 72 年会収支決算が報告された。第 72 年会の実質黒字額は約 588 万, その内 4 割が支部に戻る(支部会計報告で計上済み)。

2. 2023 年度支部会計報告

鈴木会計幹事の代理として, 井上現支部長より 2023 年度の支部会計報告が行われた。資料 3 に基づき説明がなされ, 内容に関して異議等はなかった。

3. 本部理事会報告

2 月 27 日に本部理事会が開催された。特記事項として常任幹事会であげるものはなく, 資料は各自で後日確認をいただくこととした。

4. 各誌編集委員会

- ・「ぶんせき」: 特記事項なし (2024 年度より高橋先生に交代)
- ・「分析化学」: 特記事項なし

・「Analytical Sciences」: 以下に特集号等の連絡事項記載(2024 年度より梅木先生に交代)

- ① 2024 年特集号 “Novel Analytical technologies contributing to clinical and pharmaceutical research fields” は 5 月に刊行予定。
- ② 2024 年 Collection volume “Raman Spectroscopy for Analytical Applications”は 9 月末まで受け付け。
- ③ 2024 年は Analytical Sciences が 40 周年。特集号が来年(2025 年)早々に予定されている。

議題

1. 2024 年度支部事業計画

1.1 第 61 回化学関連支部合同大会

世話人である財津先生より, 第 61 回合同大会の概要説明がなされた。大会本部からの注意事項として, 例年, 申し込み内容の不備が多く見受けられるため, 指導教員の対応のお願いがなされている。

1.2 第 42 回九州分析化学夏季セミナー

世話人の児玉谷先生の代理として, 共同世話人を務められている満塩先生より, 第 42 回夏季セミナーの説明がなされた。参加費と宿泊費は 2023 年度と同様に別会計。会場に関して, 鹿児島大学稲盛会館を使用する等, 経費の面からも複数の案を検討中。

(以下, 世話人からの要望に対する常任幹事会での意見等)

- ・ 緑陰セミナーについて, 北海道支部から講師を呼ぶ場合の講師旅費は支部負担とする(幹事会で議論済)。学生は相手先負担。講師旅費を支部負担とする場合に, 支部直轄とするか, 若手の会の予算とするかは未定。
- ・ 支部助成: 宿泊費の部分を何か違う名目で支部から補助できるようなよい案がないか?
→ 今後も意見のある方は執行部等に連絡いただくこととした。
- ・ 銀行口座: 口座の継続使用は, 若手の先生方が OK ならよいのではないか。

1.3 第 62 回分析化学講習会

井上支部長より, 3 月から 4 月に第 1 回実行委員会を開催する予定との連絡があった。

2. 2024 年度支部予算案

鈴木会計幹事の代理として, 井上現支部長より 2024 年度の支部予算案の報告が行われた。資料 7 に基づき説明がなされ, 内容に関して異議等はなかった。

3. 2024 年度支部・本部関係役員

江藤庶務幹事より, 2024 年度支部・本部関係役員の報告が行われた。井上支部長より, 監査を廃止してはどうかとの発議があり。理由としては, 各支部は四半期毎に本部に会計報告をしている

こと、他の支部は監査を支部毎に行っていないこと、学会全体として監査を受けていること等。代わりに近畿支部がとっている監事の制度をとったらどうか？

→ 監査を廃止する場合、支部の規約改定が必要のため、今回の常任幹事会では発議のみ。2024 年度の常任幹事会及び幹事会で議論を進めていく。

4. 支部役員の変更及び役員名簿

江藤庶務幹事より支部役員の変更及び役員名簿の報告が行われた。

以上